

第五回執行委員會を神戸海員組合本部樓上に開催、岩永顧問病篤
しとの報來る。

七 月

△三日
「組合會議時報」第七號發行

△六日
政治委員會を東京總同盟本部に於て開催

△十日
上條常任書記、高野山籠城の大阪機械工作所爭議團を訪ひ陣中見
舞をなす。

△十一日
政治委員會の決定により、松岡、河野、山川の三氏、岡田内閣に
對し、「産業及労働統制」に關する建議、並に全産聯組織の團體保險
反對、國營保險の實施要求に關し、書記官長、後藤内相、床次選
相等を應訪す。

△十五日
大阪機械工作所の爭議應援に對し、在阪の組合會議加盟團體は該
爭議應援協議會を組織す。

△十七日
政治委員會の決定に基き議長より全産聯團體保險反對運動に就て
の指令を加盟各組合に發す。

△十八日

△二十六日
第二回評議員會を大阪港區日本海員組合川口支部に於て開催

九 月

△三日
岩永労働代表顧問、病氣快癒、元氣にて朝八時神戸入港の照國丸
にて歸朝

△八日
議長より東京市電の爭議に對し、其の應援に關しては地方協議會
(地方協議會の組織なき地方は加盟團體の協議により)を中心に地
方の事情によつて善處せらるる機指令を發す、

△九日
東京、横浜、神戸等の加盟團體は東京市電應援協議會を開催、東
京市電爭議の應援の具體案を協議實行の報告來る。

△十三日
松岡政治委員長は第二回評議員會の決議により床次選相を訪問、
選任省案の團體保險實施を要望す。

△十九日
九州及中部地方協議會より東京市電爭議應援の報告來る。

地方協議會結成及活動

大機の爭議に關し、十五日の在阪加盟團體の應援協議會に於て決
定せる「組合會議政治委員會が、海軍當局に對し爭議の真相を陳
情し、當局が速かに爭議解決のため善處せらるる、機要する」の
主旨により、松岡政治委員長、海軍當局を訪問す、

△二十五日
米窪書記長執筆、組合會議、海員組合共同發行的「亞細亞労働會
議結成經過」を出版配布す。

八 月

△三日
全産聯團體保險をポイコットせよ、國營保險實施要求の宣傳ポス
ター發行送附す。

△四日
大機爭議在阪加盟團體應援協議會の代表として、全勞の河野勇氏
總聯盟の内田文市氏來訪、大機の爭議及び應援協議會の經過を報
告し併せて今後の應援方法等につき米窪書記長、堀内評議員、上
條常任書記と懇談す、

△五日
米窪書記長、大機爭議見舞券々總同盟大阪聯合會を訪問、西尾氏
等と懇談打合せをなす。

△九日
第十八回労働總會出席の日本労働代表顧問鈴木悅次郎氏は、シベ
リヤ經由にて夜七時五十分大阪歸着にて歸朝

結成大會

△九州地方協議會 昭和七年十月二十七日 所在地 門司市祝町
二丁目、日本海員組合門司支部會館
△北海道地方協議會 昭和八年十一月六日 所在地 釧路市末廣
町日本海員組合函館支部會館
△中部地方協議會 昭和九年一月二十二日 所在地 名古屋市南
區真砂町三丁目日本海員組合名古屋支部
△神戸地方協議會 昭和九年三月二十一日 所在地 神戸市海岸
通三丁目海員會館内

活 動

一、九州地方協議會は昭和九年四月十五日第五回委員會を開催、第
十八回國際労働總會に於ける日本商品ダンセンが抗擊に關する意
見書を公開發表、及び簡易保險低廉診察拒絶對策に關する決議を
なし、其の實現に活動せり。
一、五月一日、各地方協議會が主催となり各地にメーデーを舉行
一、昭和九年七月發せらる大阪機械工作所の大罷業に對し、在阪の
加盟團體は、該爭議應援協議會を組織し、積極的の應援對策を講
じ活動せり、神戸地方協議會も同様應援す。
一、昭和九年九月の東京市電の大爭議に對しては、東京及横浜の加
盟團體は直ちに應援協議會を組織し、大活動をなす。尙中部地方
協議會及神戸地方協議會は應援團士の派遣及應援資金を送り、九
州地方協議會も又應援資金を募集送金せり。